高齢者叙勲

●高齢者叙勲旭日単光章
仁井康富さん（上赤名）

仁井さんは、昭和56年1月から平成16年12月までの7期24年6カ月にわたり、赤来・飯南町議会議員として地方自治の発展に貢献。

豊富な経験と卓越なる見識と、強固な政治信念をもって、赤来町・飯南町の教育、文化、住民福祉等の向上に注力され、本町の発展に寄与されました。

丸山知事から仁井さん（写真右）に伝達されました

●高齢者叙勲瑞宝双光章
石田一秀さん（上赤名）

石田さんは、昭和37年に島根県に奉職して以来約36年間、農業改良の普及・指導に打ち込み、津和野農業改良普及所長、出雲農林振興センター農業振興部長、木次農業改良普及センター所長等を歴任。

島根県の農業行政の発展に大きな功績を残されました。

勲記を手にする石田さん

優良公民館職員表彰を受賞

公民館活動の振興に顕著な功績があったとして、次の公民館職員が、島根県教育委員会教育長から表彰されました。

●来島公民館
館長　安部和昭さん

安部さんは、多様な立場の住民が公民館事業に参画できるよう、効果的に事業を計画・実施。

令和2年に来島拠点複合施設（来島公民館併設）が開館後は、気軽に施設を利用できるよう関係団体に働きかけ、施設の利用、運営の改善を図っています。

●赤名公民館
館長　石見涼二さん

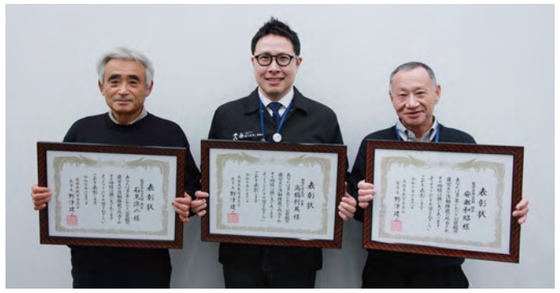
石見さんは、コロナ禍で縮小傾向にあった地区運動会の実施方法を変更し、地域住民が参加しやすい工夫や考慮を重ね実施。

赤名公民館運営協議会を年5回開催し、運営協議会委員の活動の活性化を図っています。

●谷公民館
主事　高橋利英さん

高橋さんは、谷公民館と谷自治振興会が連携し、地域課題解決等に取り組めるよう事業を計画、実施。

既存事業を実施する際も、常に新しい仕組みや工夫を取り入れ、事業内容の改善を図っています。


左から石見館長、高橋主事、安部館長

～税の役割や大切さを学ぶ～ 税に関する絵はがきコンクール

「税に関する絵はがきコンクール」は、税金が私たちの暮らしにどのように役立っているのか、税の意義や役割などを理解し、その必要性や使い道について考えてもらうため、小学生を対象に毎年実施されています。

今年は大東税務署管内から405点の応募があり、町内から9人が表彰されました。受賞者は次のとおりです。

【コンクール受賞者】

●雲南青色申告会連合会長賞
澤田　七彩さん（来島小6年）

●飯南町長賞
吾郷　柚來さん（来島小5年）

●飯南町教育長賞
日高　愛夢さん（頓原小6年）

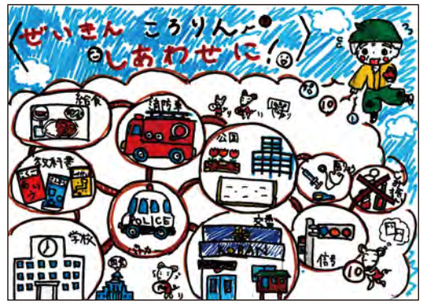
●飯南町青色申告会長賞
橋村　希さん（頓原小6年）

●雲南法人会飯南支部長賞
田邊　潤さん（赤名小6年）

●入選
石飛　逢和さん（頓原小6年）
中川　結衣子さん（志々小5年）
石田　鈴夏さん（赤名小6年）
山田　朔也さん（来島小5年）

作品は町ホームページに掲載しています。

飯南町長賞　吾郷 柚來さん



雲南青色申告会連合会長賞　澤田 七彩さん

中学生が飯南町をPR

11月14日(金)

赤来、頓原中学校の生徒が、交流体験学習（修学旅行）で訪れた神奈川県横浜市の商店街で、PR活動を行いました。

特産品や地域の魅力を自分の言葉で伝えることで、ふるさとに対する理解と愛着を深めることや、販売活動を通してお互いに協力する力を育むことが目的。飯南米やしめ飾り、りんごジュースなどを販売し、生徒たちは商店街中に響く声で接客や販売活動を行いました。

生徒の実行力や発信力を培う良い機会として、今後も販売体験活動を続けていきます。

商品のおすすめポイントをしっかりと伝えました

飯南町の食材を給食で

11月1日(土)～30日(日)

島根県では、6・11月を「しまね・ふるさと給食月間」とし、学校給食に地域でとれた食材や食品を取り入れる取組を行っています。

11月には、町内でとれた舞茸、焼きいも、豆腐などを使った給食を町内の小中学校で提供。11月26日には飯南高原ポークの南蛮漬けが出され、給食時の放送でも紹介されました。

給食を教材とした食に関する授業や、地域の旬の食材や生産者を紹介するなど、食育の取組にも力を入れています。

「豚肉がやわらかく、ごはんが進む味でおいしい」と笑顔（11月26日来島小）